

# 日本語教育を通した大学間の協同・連携を考える

～2006 年武漢大学出張報告～

## Creating an international university network for Japanese language education

徳島大学留学生センター

Gehrtz 三隅友子

徳島大学総合科学部（平成 18 年 3 月卒業）

曾我部朋子

During a study tour to Bukan University in March 2006 we (leading instructor Prof.Misumi,assistant Sogabe) held from March 13<sup>th</sup> to 15<sup>th</sup> five sessions of Japanese language instruction,which were attended by a total 116 students, ranging from first-year students to graduate students.We had the participants evaluate each lesson and inquired about their needs for language study in Japan. As the result of this survey we have to examine two questions:

- 1 How do teaching methods and materials used for Japanese language courses at Japanese universities effect Chinese students?
- 2 What kind of Japanese study programs and exchange programs are necessary to further strengthen the relations between universities?

### はじめに

筆者らは、2006 年 3 月 9 日から 16 日の日程で武漢大学研修（徳島大学総合科学部葭森教授及び留学生センター三隅が引率教員、工学部及び総合科学部の学部生 14 名の総勢 16 名）に参加した（本研修の詳細は別報告書に記載注 1）。本研修の目的は、本学と協定校の武漢大学にて、歴史を中心とした講義及び講演会への参加、武漢地区の史跡訪問、さらに武漢大学の学生との交流を体験することによって、学生が異文化を体験しその理解を深めることであった。

本研修の期間中に並行して、筆者らは武漢大学日本語学科の学生 116 名（1 年～修士 1 年）に生教材を使った日本語授業を実施し、受講者からの評価を得た。また同時に彼らに日本留学に対するニーズ調査を行った。

本稿は、授業評価及びニーズ調査の結果から、日本語教育を通したこれからの大学間の協同及び連携を考察するものである。

## 1.日程

### 1-1 学生訪問団活動スケジュール

日	活動
3月9日(木)	武漢に到着
3月10日(金)	午前 武漢大学見学 午後 講演「日本＜東アジア＞文化の形成と中国」 葭森・何・楊教授
3月11日(土)	午前 講演 熊谷・三隅教授 午後 学生による交流発表会 (武漢大学日本語学科学生と)
3月12日(日)	武漢市内観光
3月13日(月)	荊州・襄陽見学旅行
3月14日(火)	荊州・襄陽見学旅行
3月15日(水)	午前 講演 「日中関係の将来」 葭森教授 午後 自由行動
3月16日(木)	日本へ帰国

### 1-2 日本語授業実施日程

日本語授業は武漢大学において3月13日～15日の間に1年、修士1年、3年(武漢大学留学中の創価大学の学生も参加)、2年の4つの学年の4クラスに実施した。下表の①～④のものである。

月日	3/9 木	3/10 金	3/11 土	3/12 日	3/13 月	3/14 火	3/15 水	3/16 木
午前	大阪	国際 交流 部と 懇談	熊谷・ 三隅 講演	武漢 市内 観光	①日本語 授業(1年) (VIDEO)	③日本語 授業(3年・ 創価大学生) (VIDEO)	④日本語 授業(2年) (VIDEO)	大阪
午後	杭州 武漢		学生交流 会		②日本語 授業(M1年) (VIDEO)		⑤日本語 授業 華中農業大学に て	帰国 徳島

また、表内⑤は華中農業大学にても要請があり授業を行った。

### 1-3 授業内容・評価

教案及び実施内容は資料1参照のこと。(教案・学習者の評価の順)

資料1

<教案及び活動記録>

2006年 3月13日(月) 曜日 9:50~ 11:25 武漢大学日本語学科1年生47名 大学院生3名 教師2名  
担当: G・三隅友子(記録: 曾我部朋子)

学習のねらい: ①インフォメーションギャップを利用してコミュニケーション活動を行う(小説を読む人とドラマを見る人が話す) ②協力して結末を予想する ③生教材の効果を考える(1年生と教師及び大学院生の参加)				
時	活動内容	教材・教具	時	実現形(学習者の記録)
10	1 ことば(キーワードの解説)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説「だれかに似た人」阿刀田高作</li> <li>・ドラマ・フジテレビ「世にも奇妙な物語より〜だれかに似た人〜」</li> <li>・タスクシート 内容理解 結末予想 生教材に対する感想</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国人教師による通訳が入ったため混乱はなかった。</li> <li>・急遽実施したため教室の確保が不可能</li> <li>・教室の機材(設置型)は非常に使いやすい</li> <li>・協同学習の効果は見られた</li> <li>・グループでの意見にさらに個人の意見を述べた</li> <li>・教材の適切さに関しては配慮が必要</li> </ul>
5	2 グループ分け 活動の説明 小説を読む人(中級以上・教師) ドラマを見る人(初級)			
15	3 読解と視聴(1回目) 別の部屋で 5つの問題を考えながら			
15	4 グループでの話し合い 5つの問題を確認する (小説とビデオとの差を確認する)			
15	5 結末を考える 小説 → 結末はない ドラマ → 小説をもとに作られた結末 [ドラマ視聴2回目]			
20	6 グループごとに結末を発表する 全体で確認 [結末部分の視聴]			<ul style="list-style-type: none"> <li>○1年生47名のうち、6年以上学習者7名及び教師・大学院生3名を中心に40名(半年学習)を1グループ4〜5人の10グループに分ける。</li> <li>○教室いっぱいの子が、指示に従って熱心に取り組む。またグループ内でも、読解組と視聴組に分かれたがスムーズに行われる。(二つ目の教室が確保できず廊下での読解作業となる)</li> <li>○両方の組も情報は日本語で得て、その話し合いは中国語さらに発表は日本語という過程と、よりできる人がそうでない人を助けて互いに課題遂行を体験する。</li> <li>○教師及び院生も競争意識が強く働いていた結果、各結末案はそれぞれ独創的なものが出される。</li> <li>○ドラマに対する反応が激しく、内容に引き込まれている。</li> <li>○正解がないのに競争をさせられることに対する意見は賛否存在した。</li> </ul>
5	7 一番ドラマの結末に近いグループを見つける			
5	8 アンケート			

5. 今日の授業（三隅担当）に対するご意見を自由に書いてください。

<「誰かに似た人」1年生 47名>

- ・おもしろいですね。ぼくが好きです。
- ・慣れません。少しこわかった。学んだものは期待したほど多くありませんでした。(中)
- ・本当におもしろい。毎週こんな授業が一回がいいです。しかしこんな授業の前、ビデオについての文法、単語を沢山教えたのほうがいいです。
- ・とてもおもしろい授業でした。ちょっとこわかったですが、このような授業は毎日するのは無理です。週に1回があればいいと思います。
- ・すごくよかったですと思います。もう一度やりたいです。こういう形式でよく考えさせることができます。それに学生は先生とのコミュニケーションがあり、とてもいいと思います。
- ・とてもすばらしいと思います。授業の内容は豊かです。このような授業に興味を持っています。もし機会があったら、このような授業を受けたいです。
- ・とてもおもしろいですがこわいです。
- ・おもしろいのに恐いです。でもドラマを通して勉強するのが好きです。
- ・刺激があり、まだまだ見たいと思います。内容はもっと積極的で明るくて、人の成長に良い内容だったらなおいいです。
- ・難しくておもしろいです。ちょっとこわかったです。
- ・面白かった。
- ・おもしろいです。難しいです。こわかったです。
- ・おもしろくてこわいです。
- ・とてもおもしろい。しかし、ほんとうにこわいですね。
- ・よくて怖いです。
- ・今日の授業はとてもおもしろいですよ。後にこのようなおもしろい授業がもっと多いと思います。
- ・今日の授業がとてもおもしろかったです。でも私は大抵分かりませんでした。
- ・とてもおもしろかったです。刺激です。大好きですよ。
- ・おもしろかったです。その作り方はとてもいいです。ありがとうございます。
- ・とてもおもしろいです。
- ・今日の授業はとてもおもしろかったです。
- ・とてもおもしろいですね。しかし。すこし日本語を分ります。
- ・今日の授業はとてもおもしろかったです。その先生はとてもいいです。
- ・おもしろいですね。とても新しく、学生の興味を引くもので効果的でした。日中の学生が文化交流できるようにもっと理解します。
- ・とても新鮮で、このような方法で授業するのはとてもよいと思います。テーマが少し刺激的でした。
- ・とてもおもしろかったです。刺激的。ちょっとこわかったです。内容は豊かです。今後はこのような楽しい活動のできる授業を受けたいです。
- ・今後は(?)に触れられるような授業を受けたいです。活気のあるおもしろい授業を受けられて、

- ・先生には大変感謝しています。
- ・こわかったです。本当におもしろかったです。刺激的でした。Thank you.
- ・本当にこわかったです。でもおもしろかったです。今後はもうちょっとかわいい映画を見たいです。
- ・とてもいいで、本当に楽しみです。よく練習することで、学生（の心理）の忍耐力がつきます。
- ・おもしろいですね。
- ・おもしろくてとても楽しかったです。
- ・たいへんですね。
- ・おもしろかったです。聞く力や、理解力を高めるのに大変ためになりました。
- ・少し受け入れられないところがありました。
- ・とてもおもしろい授業だった。よい刺激になった。物語の内容がとてもおもしろくて、内容変化が速くて、次の内容が何なのか想像してしまいます。最後の結果も予想外でした。
- ・今日の授業はとてもおもしろかったけど、ちょっとこわかったです。日本語がすべて聞き取れなかったけど、おもしろかったです。このようなスタイルはよいと思います。日本語の勉強の良い自信になりました。
- ・よい。Creative, more interesting and exciting than usual class.このような授業は準備するのに時間がかかると思いますが、学生にとってはとても役に立ちます。多すぎると良くないけど、たまにあるといいです！とても感謝しています。May you a good trip in China! ByeBye.
- ・おもしろくてスリラ映画。
- ・おもしろい、スリラー、ひきつけられる。
- ・とても面白いですね。しかしちょっと怖いですよ。だいすきです。
- ・とてもおもしろいです。今日の授業が意外ですよ。
- ・おもしろい。大好きです。
- ・今日の授業はとても面白くて意味がありました。また、生の日本語を聞けました。結果の予想は想像力をかきたてました。今回の授業は特別で、受けやすく(?)。先生たちも親切でした。
- ・今日の授業はとてもおもしろいですね。その小説は“神秘感”があります。結果は意外です。
- ・おもしろかったです。新しく引きつけられ、学生は主体的になれました。大変良かったです。
- ・内容が刺激的で怖かったです。少しの単語だけ聞き取れましたが、やっぱり日本語の勉強に役に立ったと思います。



< 教案及び活動記録 >

2006年3月13日(月) 曜日 14:00~15:30 武漢大学日本語学科修士1年生4名  
担当: G・三隅友子 (記録: 曾我部朋子)

学習のねらい: 生教材使った教室活動の紹介 (修士の学生の日本語レベルを知る、また日本留学への希望等の聞き取り調査) (熊谷密員教授)				
時	活動内容	教材・教具	時	実現形 (学習者の記録)
10	1 自己紹介 一人ずつ (ビデオ録画)			
20	2 曾我部さん自己紹介 卒業制作「徳島での生活紹介」DVD 質疑応答	・自作作成教材		1 三隅挨拶 熊谷先生挨拶 2 修士の学生 4人 自己紹介 日本語学科修了後の希望等
50	3 生教材及び教室活動紹介 テーマ: ゴミ問題 素材1 「視点論点〜海岸線の今〜」 映像 8分 およびスクリプト 2005年放	・テレビ番組 「視点論点」 スクリプト ・小説 ・ドラマ ・ゴミに関する 資料 (市の広 報) ノート型PC		3 曾我部さん自己紹介 ビデオを使って ・実家の寺の風景、通路に関して ・徳島大学総合科学部・弓道場の紹介 ・日本語教師を目指す学生の存在
10	映 2 小説 「おーいでてこい」 星新一作 3 ドラマ 「穴」 4 マッピングシート 5 徳島市のゴミ収集に関するパンフレット 6 徳島市の住民として (熊谷・曾我部・三隅) 素材をどのように使ってテーマ学習を行うかの実演 4 感想、質疑応答			4 テーマ学習の方法 様々な素材を組み合わせて使うこと のヒントを提供する、将来教える立場で 上級の教育を考えてもらう。 環境問題は一国レベルの問題でない ことの確認、日本と中国の差に関して 意見交換する。 「おーいでてこい」 全員で音読
				・4人とも流暢 さの差はある が正確な日本 語を話す ・普通の日本人 の生活、徳島の 様子に興味を 示してくれる ・具体的な教室 活動のイメー ジよりも自分 たちの教材と してどうかの 確認作業とな った(レベルの 調整必要あり)

< 教案及び活動記録 >

2006年3月14日 (火) 曜日 9:50~11:20 武漢大学日本語学科3年生26名と創価大学日本人留学生16名  
担当: G・三隅友子 (記録: 曾我部朋子)

学習のねらい：日本人留学生と日本語を学ぶ中国人学生による交流授業 ① 日本人留学生の日本語力を知る				
② 中国人学生：大学内の日本人の存在を知る、自分の日本語力の確認 お互いが協力した活動ができるかどうかの確認				
時	活動内容	教材・教員	時	
			実現形（学習者の記録）	
			コメント	
10	1 ことば（キーワードの解説）	・小説「だれかに似た人」阿刀田高 作  ・ドラマ・フジテレビ「世にも奇妙な物語より〜だれかに似た人〜」  ・タスクシート  内容理解 結末予想 生教材に対する感想	1 あいさつ 授業の趣旨説明 (創価大学の学生は来中後2週間) 2 ○中国人学生2名に日本人学生1名のグループ作り、互いに自己紹介 ○グループごとに競争し、優勝チームを決める等のアナウンスをする 3 小説＝日本人、ビデオ＝中国人に分かれて情報収集をする 4 話し合いは日本語、中国語が混じる 5 結末に関しては熱心に討議がなされる (考えがグループでなかなかまとめられず予定より時間をかける)	
5	2 グループ分け 活動の説明 小説を読む人（日本人） ドラマを見る人（学生）			6 日本人がリードしてまとめる (結末を知っている日本人もいた)
15	3 読解 と 視聴（1回目） 別の部屋で 5つの問題を考えながら			7 自由な会話
15	4 グループでの話し合い 5つの問題を確認する (小説とビデオとの差を確認する)			
15	5 結末を考える 小説 → 結末はない ドラマ → 小説を元に作られた結末			
20	6 <u>ドラマ視聴2回目</u> グループごとに結末を発表する 全体で確認 <u>結末部分の視聴</u>		独創的な結末が披露される	
5	7 一番ドラマの結末に近いグループを見つけたら 自由会話（連絡先交換）			
5	8 アンケート それぞれ			

5. 今日の授業（三隅担当）に対するご意見を自由に書いてください。

<「誰かに似た人」3年生25名と創価大学日本人留学生17名>

<中国人学生（武漢大学学生）>

- ・このような授業が面白くて、好きです。勉強にも役が立つと思う。
- ・今日の授業はおもしろいです。こんな授業は私たちに役立つ。
- ・いいです。授業時のふんいきはいいだ。こういうようにの授業はたくさんの趣味がある。
- ・先生はやさしいからとてもよかったです。それに、面白い上にすごい勉強になりました。私たちの考え方を育ててくれてありがとうございました。
- ・今日の授業がとても楽しかったです。いまの授業はおもしろいと思います。また機会があれば日本の学生と交流することがほしい。
- ・今日の授業はおもしろいと思います。
- ・なかなかいいと思います。今後このような交流をしたいです。お互いに勉強すれば、みんな勉強になることができると思います。
- ・すばらしい。
- ・今日はとても楽しかったです。
- ・今日の授業はとてもおもしろい。
- ・とてもおもしろかったです。普段はなかなか日本人の人と交流する機会がなくて、先生には感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・おもしろくてそんな形式で授業をしたいです。
- ・おもしろかった。自由に考えできる。
- ・授業の内容はおもしろかったです。今日の授業はいい勉強になりました。
- ・二度目か三度目にドラマを見ると、科白をくれたほうがいいと思う。確認できて聴解の能力の上達に役立つから。
- ・とてもおもしろかったです。日本留学生とコミュニケーションする機会がもっとたくさんあればいいと思います。
- ・すごくおもしろかった。
- ・おもしろくいろいろ勉強になった。
- ・おもしろい。
- ・活躍で雰囲気良かった。

<日本人学生（創価大学留学生）>

- ・私は少し早口なので、中国人にちょっと分かりづらかったかもしれませんが、でも楽しかったです。日本人の先生の授業を受けたのもすごく久しぶりだったので懐かしかったです。
- ・自分では分かっている言葉を説明するのが難しかった。思っていたよりも意見が控えめ(?)だった。日本語がうまくてさすがだなと思った。
- ・彼らもしっかり話の内容を理解していてとても話がスムーズに進みました。話の内容がもう少し



容易だったら答えを見出せたかもしれないかったです。主に中国語で話してしまったのが残念でした。

- ・ こういう授業をしたことがなかったので最初はとまどったけれど、とても楽しくすることが出来ました。中国の学生のみなさんがこのドラマをしっかり理解している姿を見て刺激を受けました。私も中国語もっと努力してがんばりたいと思います！今日は楽しかったです。ありがとうございました。
- ・ ビデオの内容怖すぎた。中国の学生と交流できてよかったです。こんな機会をいただいてありがとうございました。
- ・ とてもおもしろかったです。中国語も少々まぜてお助けできたと思います。
- ・ とても面白い授業だった。映像を見てほとんどの内容を学生が理解している事に驚いた。始めの方はあんまししゃべってこやかだったけど最後は楽しく日本語でしゃべれた。
- ・ いい機会ありがとうございました。
- ・ 今日はとても楽しかったです。当てられなくて悔しかったけどまたやりたい！
- ・ 3人のグループでした。一人の子とは自分の考えていた結末と同じでした。日本語がすごくうまくて驚きました。自分もがんばろうと触発を受けました。
- ・ 日本のビデオを使っの学習はとてもおもしろかった。ストーリーを全部当てられなくて悔しかった。
- ・ このような形式での授業はしたことがなかったので楽しかった。日本語学習としてだったので仕方がないが、中国語を使う機会がほとんどなく、日本人側としては少々物足りないものだった。
- ・ 楽しかった。結末が難しかったです。
- ・ こういう機会はなかなかないのでよかったと思います。楽しかったです。
- ・ めったにない機会を頂き、本当にありがとうございました。日本語がものすごく上手だった。でもちょっとくやしんで、またやってください。



<教案及び活動記録>

2006年 3月15 日(水) 曜日 8:00~9:30 武漢大学日本語学科2年生 50名  
担当: G・三隅友子(記録: 曾我部朋子) 熊谷啓員教授

学習のねらい: マンガを使った学習、①いろいろな4コママンガを読む・理解する ②マンガの会話作りとその上演

時	活動内容	教材・教具	時	実現形(学習者の記録)	コメント
5	1 自己紹介 グループ作り 男性が必ず一人入った10グループ (男女のロールプレイのため)	<div>                     ・4コママンガ 3種類 新聞・雑誌より                       ・マンガのこと ばシート (日本語ジャーナルより)                 </div>	5	1 自己紹介	・講義型教室のため話し合いが難しい  ・マンガに対する関心の高さを再確認する  ・ストーリー性のあるものの絵がきれいなもの等のいろいろな理由から関心あり  ・活動に不慣れと説明がうまくいかない ・評価自体の設定に無理 ・録画→視聴→訂正が必要
10	2 マンガに関して 好き、嫌い? よく読む? どんなマンガが好き? テレビや映画や雑誌で見ますか?		10	2 マンガに関する反応はよい おおむね 好き、よく見る ドラゴンボール、ワンピース等雑誌よりもビデオで	
20	3 4コママンガの理解 ・意味の説明 ・何がおもしろいのか ○「ののちゃん」朝日新聞 3/9朝刊 ○「百年川柳」ビックコミックオリジナル3月号		20	3 マンガの意味に関しても理解がよい 主人公の気持ちやなぜおもしろいのかを理解できている グループで助け合って確認	
35	4 4コママンガを使ったロールプレイ活動 「サザエさん〜夜のエレベーター〜」 (ノリスケさんと女性のエレベーター内での事件) ふさだしの会話作成と上演 ☆優秀グループを決める		50	4 素材が古い状況は理解 マンガの言葉として短くできずに長い会話を作成してしまう。 作成、発表の両方に時間がかかる。 評価の部分で他グループの上演をじっくり聞く余裕がないことまた評価が難しい 熊谷先生による評価 ・熊谷・曾我部による例の上演	
15	5 マンガの言葉(擬態語の説明)			マンガの言葉はプリント配布のみアンケート	
5	6 アンケート		5		

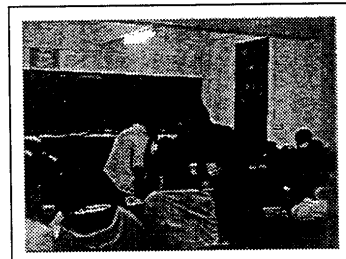
5. 今日の授業（三隅担当）に対するご意見を自由に書いてください。

＜「マンガで学習」2年生 46名＞

- ・今日の授業はおもしろいと思います。特にこのような活気のあるスタイルはとてもよくて、学生たちの積極性を引き出し、全ての教室が活発でした。
- ・おもしろい。女の先生が本当にやさしい。
- ・今日、先生の授業はおもしろくて、教室の雰囲気も活発でよかったです。次回もこのような授業を聞きたいです。
- ・おもしろい授業です。日本語に対する興味を増えます。
- ・今日の授業はとてもおもしろくて、いい勉強になりました。そして日本の先生がほんとうにかわいいです。
- ・また今度機会があれば授業をもらうことができます。
- ・学生と先生の交流がもっと多くなるほうがいいですね。
- ・教室の雰囲気が活発でうちとけていた。
- ・先生の授業はとてもわかりやすかったです。教室活動のなかで、たくさんのことを学びました。ありがとうございます。もし授業内容の準備がもっと豊かだったら、さらに良かったです。今後もし機会があれば、三隅先生の授業を受けたいです。
- ・先生の授業は活気があって、生き生きしていて、リラックスした雰囲気です。生の日本語をたくさん学びました。
- ・この授業はとてもリラックスして学べ、とてもおもしろかったです。また先生の話聞き取れたので楽しかったです。
- ・三隅先生の授業は「とても活気がある」。おもしろいです。勉強になりました。
- ・刺激があっておもしろかったです。また、重要な単語も勉強できました。セリフを記録し、学生に朗読させたらと思います。機会があれば劇を演じるのに参加したいです。
- ・おもしろかったです。ずいぶん勉強になりました。先生はやさしいとおもっています。ありがとうございます。
- ・先生はほんとうにすごいです。授業がおもしろくて忘れないです。
- ・先生の授業は素晴らしくておもしろくて、私たちは会話している時、緊張しなかったと思います。
- ・好きです。おもしろくて言葉が聞きとれやすい。だけど、私たちは先生ができるだけたくさん教えてくださいたいと思っています。多くの時間が学生参加することはきらい。
- ・今日の授業はとても面白く思います。そして、先生たちはもう一度きってことはほしいです。
- ・本当におもしろかったです。
- ・おもしろいですね。
- ・おもしろいですね。私たちは勉強になりました。この授業を取って、日本の漫画にもっと詳しくなります。先生の教え方はおもしろいです。
- ・今日の授業はおもしろかったです。創造力を培ってくれるし、日本語を活用するし、本当にいい勉強になりました。でも内容をもっと豊かにしたらもっといいと思いますけど。
- ・今日の授業はおもしろかったです。先生もやさしかったです。いろいろお世話になりまして、あ

りがございました。

- ・今日の授業が本当に面白いと思います。だけど簡単すぎると思います。
- ・活発、おもしろい、好き。
- ・私この先は（お名前はちゃんと覚えなからごめんね。）が大好きです。日本語をはっきり話していたので、私はだいたい分かりました。ですから今日はいいい勉強になります。ありがとうございます。中国へ来てほしい人です。
- ・おもしろい。
- ・おもしろいのになちょっと時間もかかった。
- ・三隅先生の授業はやさしくておもしろいです。いろいろ教えていただきました。これから四コマ漫画をもっと好きになります。雰囲気を作るのも上手です。
- ・今日の授業はおもしろいと思います。そしていろいろな新しい言葉を習ったから、どうもありがとうございました。
- ・先生はほんとうにやさしいと思います。
- ・今日の授業はとてもおもしろいと思います。
- ・とてもおもしろくて良い。
- ・とてもいいと思っている。
- ・とてもいい勉強になりました。おもしろい自然な日本語が習いました。
- ・ぼくは意見がなく、先生と先生の教え方がとても好きです。
- ・おもしろい。授業は普通の先生とは違って特別な形式を行われています。ですから学生は大きな興味がありました。
- ・今日の授業はとてもおもしろく、ですが、いろいろな知識をいただきます。本当にいい授業です。
- ・今日の先生の授業は大好きです。とてもおもしろいです。先生の話はきれいですね。やさしい先生ですね。
- ・先生の言葉もわかりやすいし、授業の内容もおもしろいし、私は先生の授業が大好きです。
- ・教師と学生の交流はもっと多い。クラスメートの交流の時間が長すぎる。
- ・おもしろい、本当に素晴らしいですよ。そして、先生方もやさしくていいです。どうもありがとうございます。
- ・今日の授業は素晴らしいと思う。
- ・とてもおもしろくて、いい勉強になったと思います。楽しい授業でした。
- ・先生はやさしいです。授業もおもしろかったです。
- ・おもしろくてほんとうによかったと思います。中国ではこんなにおもしろくて、自由な授業が滅多に見かけません。



<教案及び活動記録>

2006年3月15日 (水) 曜日 16:00~16:50 華中農業大学 日本語履修生 26名

担当: G・三隅友子

学習のねらい: ビデオを使った授業 ① ゴミ問題に対する意識を高める ② ビデオの内容理解 (初級の学生が映像を見てどのくらい理解できるか)				
時	活動内容	教材・教員	時	実現形 (学習者の記録)
5	1 自己紹介	<div>・穴マッピング シート</div> <div>・ビデオ ドラマ・フジテレビ「世にも奇妙な物語より〜穴〜」 原作・星新一著 「おーい出てこい」</div>		
5	2 ゴミ問題に関して グループ3~4人			
15	3 穴マップを使って 何でも捨てられる便利な穴があります。あなたの捨てたいものを一大きく書く グループから全体へ発表			
20	2 ビデオ あらすじ と大事なことは インスピレーションシートを使って説明 通訳			
5	3 ビデオ いくつかに区切って見る 場面とことばの確認 4 結末を考える 5 ゴミの問題 穴の変わりに海がその役割をしています。 日本海の現状 ゴミの分別の現状		45	
5	6 質疑応答とアンケートで終わり			
<div>コメント</div> <div>・武漢大学と違い 日本語を外国語として履修している 学生のため、日本語力は初級前半</div> <div>・日本語に対する 興味が高くまた呉 教員に対する信頼 も感じられた</div> <div>・中国人日本語教師が実施できない 活動や素材の提供 が今後できるのか はないか</div>				

## 2 実施アンケート

### 2-1. アンケート

日本語の授業を受けた 116 名に対して以下の項目で質問をした。

日本語を学習しているみなさんへ

＜徳島大学では留学生に対するいろいろなプログラムを考えています。  
プログラム作成の資料として他の目的には使いませんので自由に答えてください。(中国語可)＞

#### I あなたのことを教えてください。

1 何年生ですか。

2 日本語を学習してどのくらいですか(何年ですか)。

#### II 日本への留学を考えていますか。

1 ☐ はい ☐ いいえ

2 日本でどんなことを学習(日本語・専門に関して)したいですか。

3 日本で勉強、研究以外にどんなことをしたいですか。

4 留学に関して考えていることや希望を教えてください。

#### III 今日の授業(三隅担当)に対する意見を自由に書いてください。

### 2-2. アンケート結果

#### I. あなたのことを教えてください。

1 何年生ですか。

116名中：1年生：47名、2年生：43名、3年生：24名  
修士1年：1名、聴講生：1名

2 日本語を学習してどのくらいですか(何年ですか)。

日本語学習の開始時期：大学入学前12名、入学後104名

#### II. 日本留学について

##### 1 日本への留学を考えていますか。

はい：101名 いいえ：13名 無回答：2名

##### 2. 日本でどんなことを学習(日本語・専門に関して)したいですか。

( )内の数字は回答数

- ・経済について(40)
- ・日本語と日本人の心理と日本の国情、日本文化、歴史(35)
- ・日本語を勉強したい(32)
- ・専門に関することを勉強したい(12)

- ・文学（9） ・政治（8） ・法律（6） ・漫画・アニメ（4）
- ・音楽／日本と中国の比較文学／日本語学／技術（2）
- ・日本語教育／日本語以外の言語／ビジネス日本語／管理学科  
言語学／心理学／科学／旅行／合気道／茶道／メディア（ニュースなど）  
中国の儒教文化／コンピューター（1）

### 3. 日本で勉強、研究以外にどんなことをしたいですか。

- ・旅行（67） ・日本文化（15） ・アルバイト（10）
- ・仕事（9） ・日本人と友達になる（7） ・経済（6）
- ・日本人の生活（5） ・日本料理を食べる（5）
- ・日本料理を作る（4） ・日本人の心を知る（3）
- ・見学／映画／漫／桜の花を見る／翻訳／日本文学（2）
- ・日本の生活を体験／日本人の大学生活／日本人の国民性／日本の地理／日本語を使う／  
日本独特の技術を学ぶ／さまざまなこと（映画を見る、仕事をするなど）／コンサート  
／専門に関すること／日本人と取引をする／通訳の訓練／いろいろなところで住む／中  
国の日本の交流事業に力を入れる／遊び／温泉／音楽／歌舞伎／着物を着る／買い物／  
ビジネス／日本のゲーム／各地の祭りを見る／有名な人を見る／有名な建築物をみる／  
サッカーチームの練習を見る／ラルクに会う／俳優や歌手になる／旅行会社を作る（1）

### 4. 留学に関して考えていることや希望を教えてください。

- ・奨学金がほしい（14）
- ・留学についての情報がほしい（奨学金、手続き、学校など）（12）
- ・留学するチャンスを増やしてほしい（10）
- ・どうすれば留学できるのか知りたい（6）
- ・日本人と多く交流したい（5）
- ・留学したい（5）
- ・留学したいが経済的に難しい（5）
- ・留学費用を安くしてほしい（4）
- ・日本の文化や日本人の心理を理解したい（4）
- ・日本人の生活を体験したい（3）
- ・日本の文化や日本人の心理を教えてほしい（3）
- ・ホームステイしたい（3）
- ・日本の大学や大学の授業について知りたい／安全を保障してほしい／日本で働きたい／  
日本語を向上させたい（各2）
- ・中国人の留学生は増えると思う／国費留学したい／留学期間をもっと長くしてほしい／  
現地参観したい／勉強に適した環境がほしい／日本でいろいろなことを勉強したい／留学  
生の生活の世話をしてほしい／1人で生活できるか不安／他国人と交流したい／外国を見  
てみたい／日本の行事に参加したい／名古屋に行きたい／卒業後留学したい／先生とクラ  
スメートが親しいほうがいい／いい先生の授業を受けたい／授業科目を多様化してほしい  
／中学人留学生に対する日本人の態度を知りたい／日本語を勉強して、その他に日本の状  
況を知るべき／物価が高い／手続きが面倒／問題も多い（安全、学費、期間の短さなど）  
（各1）

### 3. 考察 ～今回の訪問調査を終えて～

#### 3-1. 将来へ向けて

現在、中国における日本語学習者数は39万人、そのうちの半数が高等教育機関で学び、そこでの日本語教師の7割は中国人教師である（2003年国際交流基金調査結果）。多くの中国人大学生が中国人教師の指導のもと日本語を学んでいる現状がある。そして卒業生のほとんどが学んだ日本語を使って、実務家（ビジネスに関わる者、教育者あるいは研究者）として活躍することが要求されている。武漢大学でも日本語学科の就職率は100%と聞くが、多くの大学生の中で日本に留学して日本を体感しながら学ぶという機会を得られる者は、様々な制約のためごく少数である。しかし今後の中日関係やアジアでの日本の位置づけを考えるとさらに学習者の数は増大すると考えられる。

このような現状のもと、今回武漢大学への学生の訪問旅行に随行し、当地で客員講師をされている熊谷先生（前総合科学部学部長）の授業時間及び正規の授業時間をいただき授業担当する機会が与えられた。

徳島大学赴任以来、「学部学生を中心とした上級者の教育に携わる中で作成した教材また教授方法を中国の大学で実施する」というのが今回の訪問目的の一つであった。

すなわち、日本の大学における上級者向けの日本語教育の方法及び内容が、中国の大学生にどのような反応をもって受け入れられるかを知ることである。今回武漢大学及び華中農業大学で実施した日本語授業（2006年3月）で得た評価（学習者、教師、その他から）をもとに検証し考察する。

#### 3-2. 生素材を活かした日本の「今」を伝える教材と内容

今回実施の授業では、現実に日本人が日々触れている生素材（ドラマ、新聞、マンガ、歌、日本人の意見等）をテーマに従って選択し、教材化したものを使用した。

教材化には、以下の視点を加えた。

- ①学習者のレベルに合わせて内容をわかりやすくする
- ②これまでに習得した内容（文法・表現）を駆使しうるタスク（課題）を設定する
- ③日本語を学ぶ者、また日本を知ろうとする者として、現在話題になっている問題に自らの考えや意見が提示できるようにする

アンケートによるコメントから、日本の「今」を伝える素材に対しての関心が非常に強いこと、「もっと知りたい」という声にあるように学ぶ動機付けにつながることがわかった。

ただし、1年生及び3年生に使用したドラマは生素材故に日本語教材としてはかなり刺激的であり「こわかった・おもしろかった」との記述が多く見られた。また「(教材は)もっと積極的で明るくて、人の成長によい内容だったらなおいいます」という意見もあった。これには学習のための教材はこうあるべきという中国の教育観が現れている。この教材は、以前にも様々な国（ロシア、アメリカ等）で学習者及び教師研修等に使用した際にもやはり教材としての適性について問題が挙げられたことがある。現実とお話の世界を区別できる年代かどうかを見極めること、また学習者の個人的な状況や問題にも配慮することが生素材を選ぶ際の教師の側の重要な点であることがさらに確認された。

また今回マンガでは「サザエさん」その他の四コママンガを使用した。サザエさん自体が日本の今を伝えるものではなく過去のものとなっている事実から、教師が「日本



の今」とは何か常に注目していなければならないことにも新たに気づかされた。上述の二つの点は、複数の様々な年代の教師が協力してひとりよがりにならないように、素材の選択、教材化を行えば解決できるであろう。

さらに内容として扱った「ゴミ問題」(修士1年生・及び華中農業大学)では、日・中・韓の廃棄物が海を回遊し、決して他人事ではないことを示唆する資料が含まれていた。この資料を日本語の情報として理解し受け取るだけでなく、隣接地域で生活するものとして環境問題を互いにどう考え実現していくのかを明らかにすることを呼びかけたといえる。(注2)

### 3-3. 従来の教育方法に加えて、新しい教授・学習方法の導入

いわゆる講義型の授業に加えて、受講者が協力して教材から情報を取得する活動を実施した。それは、レベルの違う学習者同士、学習者と日本人、学習者と教師といった様々な組み合わせによって行われた。1年生は、大学以前からの既習者を中心としたグループ、2年生は少ない男子学生を中心としたグループ(男女のロールプレイ実施のため)、3年生は武漢大学へ留学中の創価大学の学生との2~3人のグループを作った。今回実施した協同学習(注3)に対しては、課題が明確であったため協力することへの不満や何をすればよいのかわからなかったというマイナス点は聞かれず、逆に一生懸命取り組めたという評価を得た。特に3年生は日本人とのペアとなることも含め初めてのことが重なり教室内は興奮状態であったように感じられた。

観察、学生の評価等から、今後一人でじっくり取り組んで理解するという学びとインフォメーションギャップを使って、実際のコミュニケーションを通して理解を深めていくという新たな学びが組み合わさる必要があると考えられる。今回の学習者には新たな学びの方法としてきっかけを提示したが、拒否されることはなかった。今後このような教授法が家庭学習や個人の学習をどうとらえるのか、またそれらがどのように連携されていくのかという点がまさに問題となるであろう。これに関しては、徳島大学の「共通教育・日本語(三隅担当)」で展開したカリキュラム、シラバス(注4)が参考になるであろう。

協同学習をし続けるのではなく、講義及び個人での学習(授業外の)との組み合わせによって両方の利点が活かされるという発想である。その実現のためには、なぜこの活動がグループやペアでなければいけないのか、何がタスク(課題)として提示されなければならないのかを教師が学習者に明示する必要がある。

また活動中の課題解決の際の自然な日本語のやりとりから「学ぶ」という事実も考慮に入れている。これは教育機関を離れて日本語を使いながら学ぶ必要がある際の、自律的な学習への導入となろう。

### 3-4. 教師の役割として、学ぶ人からさらに教える人への転換

前節で教師の協力の必要性を述べたが、今回の訪問で得たことの一つとして、中国人学生の「学習者から教師へ」という視点を挙げる。そのきっかけは、華中農業大学における授業である。華中農業大学の呉講師は武漢大学日本語学科の卒業生であり、大学院在学中の2003年10月から1年徳島大学総合科学部と大学院に研究留学生として在学し、共通教育「日本事情(三隅担当)」を受講した。そして徳島大学にて生素材と課題解決型協同学習法に遭遇した。氏にとってこの衝撃は大変大きなものだったらしい。現在呉氏

の現場では初級者への教育が中心であるが、将来日本語学科設立の際には、従来の教育方法に加えてこれらの新しい方法を採用したいと意欲的である。そこで以下の案を提示したい。

前述の教材及び教育方法に関して、授業を共に作る者として、非母語話者教師（中国人教師）と日本語母語話者教師（日本人教師）が協同する可能性である。中国人教師はまずは自らの学習者としての経験をもとに、学習者の学習を支える役割を担う。

武漢大学日本語学科の教育水準の高さと効率のよさ、一クラス 50 名を教師が指導し 4 年間で上級レベルの日本語を操る人材を育成していることがその教育効率のよさを物語っている。それは日本における日本人教師にはできないそしてわかりえない働きかけによるものである。たとえば、武漢大学の王先生が作成されている上級日本語教育の教科書は、王先生自身が日本語を学習していく中で、出会った日本の文学や最新の文章を取り入れられていた。学習者であった自分の経験を通して、学生にこの内容を理解させたいという思いが伝わるものであったことも付け加えておきたい。

よい教師の条件とも重なるのだろうが、中国人、日本人の両者の利点を認め、また互いの足りないところを補う形で実施される教育には大きな効果があろう。

両者がたとえ遠隔地にあっても、インターネットやメールを使った方法で互いの教材開発、特に日本から海外への働きかけが可能であると考ええる。そしてそこには協同によって双方が高めあおうとする信頼が土壌にあれば成立すると確信する。

### 3-5. 留学プログラムへの提案 —日本語教育の視点から—

今回は、アンケートに対して武漢大学の日本語学科学生 116 名（1 年生：47 名、2 年生：43 名、3 年生：24 名、修士 1 名、聴講生 1 名）の協力を得られた。104 名が大学入学以降に日本語学習を開始している。そのうち日本への留学希望は 101 名であり、希望する学習内容は、①経済 ②日本に関わるすべて（日本文化、歴史、国情、日本人の心理）③日本語そのものがそれぞれ 30 名以上を占めた。学習以外に体験したいことは、①旅行②仕事（アルバイトも含む）③日本文化体験（日本人と友達になる・日本料理を作って食べる・着物を着る・歌舞伎・温泉・桜の花・有名な建築物を見る等）が上位に挙げられた。旅行、文化体験に関しては、これまで学習した内容を実際に確かめたいという思いからか、具体的な地名や体験したい詳細な内容が書かれていた。そして、留学に関しての一番の問題はやはり、①資金 ②留学のための詳しい情報 ③留学した際にどうすれば効率よく自分の知りたいことややりたいことが実現できるかという疑問であった。

一番の問題の資金に関しては、やはり公的な機関や組織からの提供を開拓するしかないのだろうか。今のところ対策はない。プログラムに関しては、日本語に関する知識や情報がある程度得られた状態の彼らには、初心者ではない上級者向けのさらに個々の興味関心が満たされる個別の留学プログラムが必要なことは当然である。

武漢大学からは、徳島大学に毎年院生（平成 17 年まで）及び学部生（平成 18 年から）が 1 名から 2 名、また中国語教師が 1 名を迎えている。彼らの日本語力の高さ、学習及び研究に取り組む熱心な態度、日本語を駆使して日本人と社会へ働きかける姿勢等は徳島大学の学生（日本人及び留学生）に正の影響を与えている。また帰国後、彼らを通して徳島大学の情報が多くもたらされている。

このように多くの学生が留学を希望し、留学後、日本語を活かした実務につくことが

歴然としているならば、協定校の学生受け入れを拡大することや、教師同士の連携の強化をさらに推進していくことが今まさに必要であり、その具体的な取り組みに向かうべきであろう。

今回の訪問調査による以上の考察をもとに、今後の中国さらにアジアにおける日本語教育を考えていきたい。

#### 謝辞

今回、武漢大学徳島大学大学生訪問団の一員として随行しながら、日本語授業の実施を認めていただきました。特に、前徳島大学総合科学部学部長の熊谷教授がその際講師として武漢大学赴任中であり、多くの授業担当が可能になりました。呉先生以外にも二人の元留学生と再会を果たすことができ、日本で留学生に日本語を教えるということは、実は広く世界につながっているという日本語教師の役割を再認識しました。

2000年に徳島大学総合科学部に赴任し、留学生センターを経て計7年、また国際連携推進室の室員として2年が経過しました。今回の調査は今後の徳島大学の国際化を考える一つのヒントが得られたように思います。

最後に、劉先生をはじめとして、武漢大学の先生方には日程調整、通訳、授業及び講演の準備等で本当にお世話になりました。また今回の訪問にあたってお世話になった関係各位に深く感謝します。

注1 武漢大学出張報告書(2006) 内部資料

注2 特にこの点は、華中農業大学学生新聞の取材で学生らが関心のある内容として記事に取り上げた事実がある。

注3 協同学習は、単なるペアやグループ学習ではなく、以下の4つの条件を満たすグループ学習を指す(日本協同教育学会の定義)。①互惠的相互依存関係が成立している②学習目標の達成とグループの成功に対する学習者自身の責任が明確になっている③促進的相互交流の機会が保障され、実際に相互交流が活発に行われている④「協同」の体験的理解が促進されている。

注4 ・Gehrtz 三隅友子・山田久美子(2006) 『日本人への提言』が問いかけるもの」徳島大学留学生センター 紀要2号

・吉廣綾子・Gehrtz 三隅友子(2006)「吉野川プロジェクト」徳島大学留学生センター 紀要2号